

# ちゃんねる

平成29年度 第1号 2017/6/29

## プログラミング教育に焦点を当てた研究大会に期待

新しい年度になり早3ヶ月になります。各校ではそれぞれの研究主題に沿った授業研究会等に力が入れている事と思います。本研究会でも、三部門それぞれに動きが見られ、大会の年であると感じています。特に、研究部では「情報活用の実践力」という新たな概念を導入しました。本研究会のねらいが児童生徒の活用能力の育成へ広がったと捉えていただき、各会員の取り組みに反映していただければと思います。



さて、2020年から小学校で必修化される「プログラミング教育」についてずっと気になっていましたが、5月19日に県情報産業協会が主催する講演会に参加し、ICT CONNECT21会長赤堀侃司氏(東京工業大学名誉教授)と日本マイクロソフトのパブリックセクタークラウドソリューション営業本部長細井智氏の講演を聴く事ができました。赤堀氏は小学校でのプログラミング教育のねらいや課題について、また、細井氏は企業の立場から、これからの仕事に求められる能力としての創造性、好奇心、論理的思考の重要性について話されました。特に、細井氏からは「AIの発達に伴い、失われる職業についての話題をよく耳にするが、新たに620万の職業が生まれる。」「現在、クラウドを利用したラインが広く使われているが、震災前にはなかった。今後もクラウドを使った仕事が増えるだろう。」「マイクロソフトの人材採用基準は6Cであるが、それを備えた人材はなかなか少ない。」「プログラミング教育は、6Cの一つコンピューティショナルシンキングに繋がる。」等のお話を伺い、目の覚めるような思いでした。

しかし教育の立場にある我々には、赤堀氏のお話の方が最適と判断し、秋季大会での講演を依頼した所、快くお引き受けいただきました。これまで気になっていた事への道筋が見えてくるのではないかと期待しています。更に、秋季大会では松木内小学校で進められているプログラミング教育の報告や、プログラミング教育の実例として企業からのプレゼンも計画しております。この秋はプログラミング教育に焦点を当てた研究大会として、大いに期待して欲しいところです。

## 研究部より

### 1 研究主題

「ゆたかな人間性を育てるための視聴覚教材や教育機器の活用はどうあればよいか。」  
～「情報活用の実践力」育成にむけて～

### 2 情報活用の実践力について

「情報活用の実践力」について大曲仙北視聴覚研究会版の捉えを以下のように提案します。ICT等の情報手段を活用して付けたい力として示される「情報活用能力」ですが、視聴覚研究会でもこの考え方に触れ親しんでいきたいと考えました。

南外中さんにも学習指導案の中に下表にある「情報活用の実践力」の「キーワード(例)」を入れていただき、どのような力を育てるために情報手段を活用するのかという視点を明らかにしていただくようお願いしています。

### 情報活用の実践力(大曲仙北教育研究会版)

名称	内容	キーワード(例)
あつめる力	課題に沿って必要な情報を集める。	収集・取材・検索
なかまわけする力	課題に沿って、情報を整理する。	判断・整理・分類・比較関連づけ
くみだてる力	情報の効果的な活用を考え、課題に沿って内容を構成する。	構想、構成、編集、順序
あらわす力	自分の思いや考えを表現する	表現方法(図、表) 相手意識
つたえる力	自分の考えや思いを相手に伝える。	発信・受信・交流・説得力
ふり返る力	学習活動を記録・蓄積し振り返る	振り返り、新たな課題

### 3 研究の視点について

- ・本会の研究主題と会場校の研究主題を踏まえ、研究の視点を設定する。
- ・研究の視点に従って、必要に応じて事前研究会等を実施し実践研究をする。
- ・今年度は以下の視点に基づいて、情報手段(ICTに加え、板書、ホワイトボード、シンキングツールの活用等も含む)の効果的な活用について検討していく。

① 一斉学習時、主に教師による提示(内容、場面、活用方等)

② 個別学習や協働学習における主に生徒による活用

## 研修部より

第1回部門会議では、「今年度どのような研修を実施したいか?」をアンケートしました。その中から多かったご意見についてお知らせします。

### タブレット関係

- ・昨年度実施したジャストシステムのタブレットの使い方
- ・タブレットを活用した授業、使えそうなソフトなど
- ・タブレットの活用方法について
- ・タブレット等、授業で使うスキルの充実
- ・タブレットと電子黒板を組み合わせた活用について
- ・タブレットを授業の中でどう活用したらよいか。

### プログラミング学習関係(ドローンも含む)

- ・ドローンについて
  - ・ドローンのプログラムの実際
  - ・とても単純なプログラムの作成
  - ・プログラミング学習の研修
  - ・ドローンの映像の活用のいろいろ
  - ・プログラミング教育とは?
  - ・プログラミングについて(その目的、概要)
  - ・ドローンの学習における活用
  - ・次期学習指導要領において視聴覚教育の何がかわるのか、そのために学校現場が準備していくべきことは何か
  - ・小学生がこれからやるであろうテレビでやっているようなプログラミングの研修をしてみたいと思います。
- 夏季研修、秋季大会においても、できるだけ会員の皆様の期待に沿った研修を開催していきたいと思っております。

## 広報部より

### 1. 視聴覚教育研究会会報「ちゃんねる」について

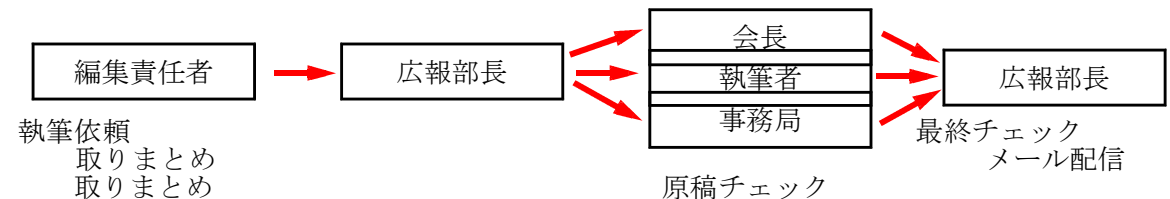
今年度は視聴覚研究大会がある年なので、会報発行は年4回とします。

### チャンネル発行の計画

会報	時期	責任者 (執筆依頼・編集)	内容	執筆者
「チャンネル」 No.1	6月 中旬	加藤 康二 梁 友章	会長の言葉 第1回各専門部の話合いから	会長 各部門長
「チャンネル」 No.2	9月 月上旬	山本 剛	副会長の言葉 夏季研修会の報告	副会長 研修部門長
「チャンネル」 No.3	12月 月上旬	飯塚 悟	副会長の言葉 研究大会を振り返って	副会長 研究部門長
「チャンネル」 No.4	2月 月下旬	後藤 拓哉 篠塚 裕	平成29年度を振り返って 各専門部の活動報告	各専門部長

夏季研修会への参加申込の作成・配布は、研修会部門でお願いします。

### 会報「ちゃんねる」の送信までの流れ



### 2. 視聴覚研ホームページ更新・「ちょこっと情報メール」配信について

(1) 責任者 進藤 正弘

(2) 制作担当 後藤 晃裕

(3) 内容

- ・会報「ちゃんねる」の掲載
- ・昨年度までの視聴覚教育研究会の指導案
- ・視聴覚教育関連のリンク、研究会のお知らせリンク
- ・授業や学校・学級経営等に役立つソフト

- ・役立つ情報の紹介
- ・役立つ情報の収集